答え 10月30日 今日は何の日クイズ



赤い字が答えです

香りの記念日にちなんで「香りとにおいクイズ」

【第1問】冬至の日に、おふろにうかべる香りのよい実はどれでしょう？

① ゆず　② みかん　③ レモン

冬至にゆず湯に入ると、かぜをひかないといわれてきました。「冬至（とうじ）」と「湯治（とうじ）」をかけた、しゃれでもあるといわれます。

【第2問】鼻をつまんで食べものを食べると、どうなるでしょう？

① 味が分かりにくくなる　② からく感じる　③ 甘く感じる

味は舌だけでなく、鼻で感じる香りといっしょに味わっています。かぜで鼻がつまると、ごはんがおいしくないのはこのためです。

【第3問】端午の節句（5月5日）に、おふろに入れる香りの強い葉は？

① よもぎ　② しょうぶ　③ ささ

しょうぶ湯です。強い香りで、悪いものを追いはらうと考えられてきました。「しょうぶ」が「尚武（武を重んじる）」に通じることから、男の子の節句になりました。

【第4問】お香の世界で、香りを味わうことを何というでしょう？

① かぐ　② 聞く　③ 見る

香道（こうどう）では、香りを「かぐ」ではなく「聞く」といいます。心をしずめて、香りに耳をすますように味わう、という意味がこめられています。

【第5問】春のジンチョウゲ、夏のクチナシと並ぶ、秋の香りの木はどれ？

① アジサイ　② コスモス　③ キンモクセイ

この3つは「三大芳香木（ほうこうぼく）」と呼ばれます。キンモクセイは、10月ごろにオレンジ色の小さな花をさかせ、甘い香りが遠くまでただよいます。

【第6問】うずまきの「蚊取り線香」。もとの原料になった花はどれでしょう？

① バラ　② サクラ　③ 除虫菊（じょちゅうぎく）

除虫菊という白い菊の花には、虫がいやがる成分が入っています。昔は、この花を育てる畑が広がっていた地域もありました。夏の夜の、なつかしい香りですね。

ねらい： 記念日の話題から、知っていることを思い出します。
声かけ： 『「今日は何の日？」から、話を広げてみましょう』
メモ： 答えのあと、うんちくを読み上げると話が広がります。

まいにち元気プリント道場
プリントのダウンロードはこちら →

© 株式会社おふとん　施設・教室・ご家庭で自由にコピーしてお使いいただけます